

# 荘内日報

12月2日(水)

発行所 荘内日報社

本社 〒997-0035  
 鶴岡市鶴岡町6-29  
 電話0235-22-1480(代表)  
 支店 〒998-0045  
 酒田市二番町6-2  
 電話0234-22-4244(代表)  
 ©荘内日報社 2020

本社代表  
 TEL 0235-22-1480  
 購読のお申し込み  
 TEL 0235-22-1481  
 広告のお申し込み  
 TEL 0235-22-1479  
 FAX 0235-22-2633  
 印刷のお申し込み  
 TEL 0235-22-1724  
 編集のお問い合わせ  
 TEL 0235-22-1482  
 FAX 0235-22-1427  
 ホームページ  
<http://www.shonai-nippo.co.jp/>

酒王  
**初孫**  
 お酒はのちになってから

5°	7°	9°	8°	6°	5°	5°
6時	9	12	15	18	21	24
6°	6°	8°	8°	6°	5°	5°

中古住宅・中古マンション・土地  
**探** しています!!  
 「買いたい! 売りたい!」の方、お気軽にご相談ください。  
 阿部多不動産(株)  
 鶴岡市山王町 TEL:0235-24-3151

7°	8°	9°	8°	7°	7°	7°
6時	9	12	15	18	21	24
4°	5°	8°	7°	5°	5°	6°

5°	6°	8°	7°	6°	4°				
6時	9	12	15	18	21	24			
2日	酒田・山形	2日	酒田・山形	酒田港	2:12	17:40			
日出	6:41	6:37	月出	17:41	17:41	満潮	10:17	20:57	
日入	16:19	16:19	月入	8:09	8:04	月齢	16.9	満名	中満

1日正午現在の気温・酒田  
 最高 7.4 最低 5.7  
 30日の気温  
 最高 8.4 最低 4.5

**みその**  
 鶴岡市みどり町20-35  
 中央公民館入口  
 TEL(0235)23-3071

きょうのニュース・話題  
 ①...18年以降最大の下げ幅 庄内5市町全て減産に 21年産米「生産の目安」  
 ②...マネープラン特集 プロに聞きました 冬の金融商品お得情報  
 ③...庄内の空へ プルーインパルスを 三川出身の「飛行隊長」遠渡さん訪問  
 ④...自分たちで井当作って一緒に給食楽しむ 食育イベントの押切小6年生



## 「松の勧進」ほら貝響き渡る

師走の風物詩、出羽三山神社の「松の勧進」が1日、鶴岡市街地でも始まった。山伏たちがほら貝の音色とともに市街地を練り歩き、大みそから元日にかけて、羽黒山山頂で行われる大祭

師走の風物詩、出羽三山神社の「松の勧進」が1日、鶴岡市街地でも始まった。山伏たちがほら貝の音色とともに市街地を練り歩き、大みそから元日にかけて、羽黒山山頂で行われる大祭

## “楽々”大自然を満喫



電動アシストが付いたスタイリッシュなスポーツ自転車「E-Bike」を活用した観光サービス「R&E-Bike」の提供が来春、遊佐町でスタートする。JR遊佐駅を起点・終点に有料で貸し出すアシスト付きスポーツ自転車で町内を巡って大自然を満喫するもの。駅到着後の「2次交通」が課題として挙げられる。同町の観光振興に向け、大きな期待が寄せられる。

町の協力を得て、サービスを提供するのはフリーデライト庄内(鶴岡市白山、佐藤幸夫社長)。同町内町特産のパプリカや野菜を彩り豊かにトッピングした「遊佐カレー」を販売している同社は現在、庄内地域を代表する人気メニューの店主が自ら製造する冷凍めん「庄内麺」の企画・販売など、付加価値の高い商品・サービスを提供する「東北プレミアム&ブランドプロジェクト」を展開

電動アシストが付いたスタイリッシュなスポーツ自転車「E-Bike」を活用した観光サービス「R&E-Bike」の提供が来春、遊佐町でスタートする。JR遊佐駅を起点・終点に有料で貸し出すアシスト付きスポーツ自転車で町内を巡って大自然を満喫するもの。駅到着後の「2次交通」が課題として挙げられる。同町の観光振興に向け、大きな期待が寄せられる。

地にも告げる  
 1日は市内の参籠の拠点となる山王白枝神社で祈禱

## 映画機能付きスペースの有効活用 にぎわい創出へ産直開催提案も

＝旧まちキネ活用考えるフォーラム＝

今年5月に閉館した鶴岡市唯一の映画館「鶴岡まちなかキネマ(まちキネ)」の活用を検討するフォーラムが29日、同市のまちづくりスタジオAdadaで開かれた。建築や地域再生などの分野から有識者がゲストスピーカーとして参加。まちキネの行く末を考える市民や県外からの参加者約35人が意見を話し合った。

まちキネの存続を願う者や、家などがそれぞれの視点で今後の活用方法を提言。施設内にはすでに市社会福祉協議会(山本知也会長)が事務所の移転を決め、旧施設の一部は映画機能付き交流スペースとして残されることから福祉と芸術文化の共存、相乗効果の生成などを軸に話し合った。舞台映像、音響設備といった映画館ならではの特殊なスペースを他の用途に転用するために改造する難しさなど

コロナ禍を受けた「3密回避」の新しいツーリズム。駅から始まる新しい旅のカタチをコンセプトにした、今回の観光サービスもプロジェクトの一環。島海山や

今年5月に閉館した鶴岡市唯一の映画館「鶴岡まちなかキネマ(まちキネ)」の活用を検討するフォーラムが29日、同市のまちづくりスタジオAdadaで開かれた。建築や地域再生などの分野から有識者がゲストスピーカーとして参加。まちキネの行く末を考える市民や県外からの参加者約35人が意見を話し合った。

日本海、至る所にある湧水など大自然を中心に資源は充実しているものの、駅到着後の2次交通の在り方が課題となっている。同町の観光振興に向け、自転車の貸し出しをメインに「2次交通不要の着地型ライドツーリズムサービス」として企画・運営していく。

同社の佐藤社長、小林隊長が26日、島海山「遊楽里」で発表会を行い、概要や今後の展望などを説明。それによると、用意するE-Bikeは1台約40万円のマウンテンバイクタイプ。力強いアシストがあるため体力に自信のない人でも長距離・山道走破が可能という。来春2月の「島海山・飛鳥シオパーク」の再認定を視野に、まずは飛鳥海地域を中心に道のサクラ、夏の湧水、秋の紅葉など四季それぞれ、自転車の貸し出しに加え、ガイドや食事アが付いた日帰りツアー、テント設置や食事準備といったサービスも提供したい。また、自然体験「グランピング」の1泊2日ツアーなども提供される。

先週の小紙の「日蓮開国」欄で、鶴岡市の生活協同組合共立社と「灯油裁判」の事に触れていた。灯油裁判と聞いて「あの頃は」と、すぐに思い出せる人は、かなりの少数派になってしまったのではないだろうか。

先週の小紙の「日蓮開国」欄で、鶴岡市の生活協同組合共立社と「灯油裁判」の事に触れていた。灯油裁判と聞いて「あの頃は」と、すぐに思い出せる人は、かなりの少数派になってしまったのではないだろうか。

1972年、北海道で始まった灯油不足は、徐々に各地に広がり、73年には東北や関東まで拡大し、第一次石油危機となって、狂乱物価と物不足を引き起こした。灯油は18リットル280円から同450円に跳ね上がり、トイレトベーパーや洗剤などを買い求める人々が、スーパーに長蛇の列を作った。

鶴岡市協(当時)は、石油業界が独占禁止法違反のヤミカルテルで値段を釣り上げたとして公正取引委員会に提訴、併せて裁判を起す。「鶴岡灯油裁判」である。1審で負け、高裁で勝訴するが、最高裁はヤミカルテルの立証責任を消費者に求め、結局、高裁の判決が破棄されて、原告の敗訴が確定したのは89年12